

RED & WHITE

純銅に錫を上塗りした紅白の器。
「祝う」というシーンに、新しいモノたちの提案。
おしゃれな、そして日常で使える品。
心を晴れやかにするシリーズ。



記憶に残るコンセプトを追求
ピアマグでもなく、マグカップでもなく、モスコミュールカップ。まずはそのネーミングの妙に惹きつけられる。
このカップは織田幸銅器が立ち上げたオリジナルブランド「RED & WHITE」の第一弾商品。縁起の良い紅白、上品なフォルムなどブランドのアイコン的存在になっている。デザイナーは気鋭のプロダクトデザイナー・鈴木啓太氏。国内外、様々な商品開発に携わる鈴木氏は、モノの背景にある物語性を大切にしている。

銅の良さを今の暮らしに

「モスコミュールは、本来、銅製カップで飲む」という記述がある。熱伝導率が高く、冷たい飲み物を注ぐとすぐにカップが冷え、冷たさが持続するからだ。口当たりもひんやり心地いい。

鈴木氏はこの物語



性に着目し、食器として馴染みの薄かった銅でモスコミュールカップをデザイン。赤い純銅に白銀色の錫を施して紅白にすることで、結婚や還暦、新築などお祝い事に相応しいギフト商品へと昇華させた。

同社開発担当の井上友美さんは、「現代のライフスタイルに合った造形、用途で銅の良さを伝える商品に仕上がった」と語る。

産地のコラボレーション

純銅は粘度が高いため铸造が難しい。そこで製造加工は金属食器の産地・新潟県燕市に依頼し、プレス成型で製造することにした。薄い口元やカップの傾斜にこだわり、表面処理や刻印など、ハンドメイドによるモスコミュールカップには、卓越した職人の技が活かされている。

商品は2013年4月に発売。首都圏の百貨店、小売店の反応が良かったこ

とからシリーズ化を決定。数カ月後にはハンドル付のアイスコーヒーカーップ、抗菌作用を活かしたデイリーカップ、フラワーベースを商品化した。

日本の手仕事を伝えていく

2013年秋、東京ギフトショーでは紅白の壁で仕切った色鮮やかなブースで商品を展示。マスコミの注目を浴びた。

「今後も日本の手仕事を伝える商品を発表していきたい」と井上さん。贈る人のセンスや品格が表れるギフト商品。「RED & WHITE」なら間違いない、一目置いてもらえるだろう。



シリーズには、モスコミュールカップのほか、フラワーベース、デイリーカップ、アイスコーヒーカーップがある。



滑らかなマット仕上げと、鍍目(つちめ)仕上げの2種類。
1個 4,381円(写真)
2個セット 8,381円(税別)

素材:銅(内面:錫メッキ、外面:アクリルラッカー)
タイプ:鍍目(つちめ)仕上げ、マット仕上げ
サイズ:φ111×H70(mm)、容量350ml

■お問い合わせ

株式会社 織田幸銅器

〒933-0945 富山県高岡市金屋本町3-34 TEL.0766-24-6154 / FAX.0766-22-6152
URL <http://www.odakou-douki.co.jp/>